

第5回 西本願寺 医師の会

西本願寺 医師の会は、生死を超えた仏教的視点で医療の現場と向き合い、学び、課題を共有しあう場として設立し、185名を超える医師の方々のご入会いただいております。
 このたび、「仏教と医療の協働」についての学びの場として西本願寺 聞法会館において開催いたします。
 ご関心がおありの医師または医学生の方は、ご参加を心よりお待ちしております。

【日 時】 2018 (平成 30) 年 **12月16日 (日)** 10:45 ~ 17:30

【会 場】 浄土真宗本願寺派宗務所(伝道本部) 3階 大会議室
 (京都市下京区堀川通花屋町上る TEL:075-371-5181)
※会場は7月に開催予定であった聞法会館ではありませんのでご注意ください

【参加費】 **2,000円** (※当日受付にてお支払いください)

10:00~	受 付
10:45	開 会 (勤行・日程説明等)
11:00	基調講演 『人が生きるのを支えるということ —宗教と医療のあいだ—』 安藤 泰 至 (鳥取大学医学部准教授)
12:00	<昼 食>
12:55	法 話 『いのち〴〵を見つめて』 庄 野 大 真 (福岡聖恵病院緩和ケア病棟臨床宗教師)
13:30	活動報告 『なぜ臨床宗教師は医療に必要なのか?』 室 原 良 治 (菊南病院院長/西本願寺医師の会会員)
14:05	<休 憩>
14:25	パネルディスカッション 座長: 月 江 教 昭 (那珂川病院医長/あそかビハーラ病院非常勤 /福岡聖恵病院非常勤/西本願寺医師の会世話人)
15:55	閉 会 <移 動>
引き続き	交 流 会 (会場: 京都東急ホテル<※西本願寺より徒歩約5~10分>)
17:30	終 了

【お問い合わせ】 西本願寺 医師の会 事務局 (担当: 浄土真宗本願寺派 統合企画室)
 〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下る 浄土真宗本願寺派宗務所
 TEL 075-371-5181(代表) FAX 075-351-1372
 E-mail ishinokai@hongwanji.or.jp

◆一般申込書 (※西本願寺医師の会会員以外の方) ご記入いただいた個人情報は本会以外の目的には一切使用いたしません

氏 名	<医師・医学生・その他() >
勤務先	※医学生の方は学校名をご記入ください
連絡先	※メールアドレスもしくは電話番号をご記入ください
ご紹介者	
昼 食	1. 必 要 2. 不 要 ※どちらかの番号に丸印をおつけください

※「西本願寺 医師の会」会員以外の医師または医学生等、医療関係者でご参加のご希望の場合は、会場の都合上、申込み用紙(上記)へ記入いただくか、同内容をFAXもしくはメール等にて、事前のお申込をお願いします。 (締切11月26日必着)

～講師及び座長ご紹介～

基調講演 講師



あん どう やす のり
安藤 泰至 先生 (鳥取大学医学部 准教授)

1961年生まれ。京都大学文学部哲学科卒業、同大学院文学研究科博士後期課程2年修了(宗教学専攻)。

専門は、宗教学・生命倫理・死生学。

2006年～2007年は、米国ヴァージニア大学実践倫理研究所フェロー、同宗教学科客員研究員。

著書に、『いのちの思想』を掘り起こす』(編著、岩波書店、2011年)、『シリーズ生命倫理学4 終末期医療』(共編著、丸善出版、2012年)など。

現在は、現職のほか、日本学術会議連携会員。

活動報告 講師



むろ はら よし はる
室原 良治 先生 (菊南病院 院長)

1956年生まれ。京都大学医学部卒業。総合内科専門医。

循環器内科の臨床・研究に携わった後に郷里の熊本で病院長として地域医療を展開。一人の臨床宗教師との出会いにより、日本の医療に欠けているスピリチュアルな部分を痛感し、病院内で臨床宗教師を医療チームの専門職として導入。

西本願寺医師の会会員。

法話 講師



しょう の だい しん
庄野 大真 師 (福岡聖恵病院緩和ケア病棟 臨床宗教師)

1989年生まれ。福岡県出身。

龍谷大学卒業、同大学院実践真宗学過程修了。

現在は、福岡聖恵病院緩和ケア病棟臨床宗教師として活躍中。

浄土真宗本願寺派 福岡教区 鞍手組 西教寺 衆徒。

座 長



つき え のり あき
月江 教昭 先生 (那珂川病院 医長)

1978年生まれ。福岡県出身。山梨大学医学部(旧山梨医科大学)卒業。専門は、循環器内科・緩和ケア。九州大学循環器内科、九州大学病院、福岡赤十字病院などに勤務。九州大学大学院単位取得満期退学、あそかビハーラクリニックの緩和ケア医師として勤務の後、現職にいたる。現在は、現職のほか、あそかビハーラ病院及び福岡聖恵病院非常勤。浄土真宗本願寺派 福岡教区 那珂組 真教寺 衆徒。

また、西本願寺医師の会発起人の一人として、発足前より携わっていただいております。第4回会合の際もパネルディスカッションの座長として進行いただきました。